

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和4年10月22日(金)				
開催時間	10:00~12:30				
開催場所	新有楽町ビル				
主催者	地方議員研究会				
研修会等の名称	地方議会研究会(教育予算の基礎)				
講師等の氏名等	甲南大学 教授 足立 泰美				
	<p>教育予算の基礎</p> <p>GIGAスクール「GIGA StuDXチーム」を発足(文科省)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育投資と教育収益 教育支出の国際比較             <ul style="list-style-type: none"> <li>公財政教育比較(DGP比)OECD平均の約7割 子どもの数もOECD平均の約7割</li> <li>※ 就学前、初等教育・中等教育、高等教育のすべての段階で最下位である。</li> <li>公費負担割合が低い。⇒教育投資への負担軽減策</li> <li>○認可外保育園等 対象から外れている。(非課税世帯)・幼稚園の預かり保育</li> <li>○初等中等教育 教職員の定数は満たしているか? 労働時間は適正か。</li> <li>○高校実質無償化 私立高校:年収590万円未満の生徒等を対象 年収目安</li> <li>○大学生等 (184校で定員割れ:全体の3割:公立大学を増やす:公的財政を増やす</li> <li>しかし地方創生の考えで大学生の定住を図る施策もある。</li> </ul> </li> <li>・「Society5.0時代」の到来 新型コロナウイルス感染症の拡大⇒GIGAスクール</li> <li>ICT教育 対面教育とオンライン教育とのハイブリッド化による指導の充実 CBT化</li> <li>「個別支援計画等」の作成⇒電子化⇒デジタル教材⇒ICT人材の確保</li> <li>・GIGAスクール形成のための予算(4兆216億円) 教員の増、少人数教育、働き方改革</li> <li>・学習指導員等の配置(39億円) スクールサポートスタッフ、部活指導員等</li> <li>・学習者用デジタル教科書普及促進事業 クラウド配信(フィージビリティ検証)</li> <li>・オンライン学習システム(CBTシステム=Computer Based Testig)</li> <li>○先進技術・教育データの利活用推進(Global and Innovation Gateway for All)</li> <li>・GIGA 実現パッケージ クラウド活用のセキュリティ 実現ロードマップ 明確な財政措置</li> <li>マトメ 教育予算の使い方として、相馬郡新地町では、震災時に情報収集や提示、震災後の家庭学習の活用、京都の清明工高校では、不登校経験のある生徒指導、世田谷区の光明学園では、特別支援学校の子どもたちにクラウドベースで、授業を提供する。</li> </ul>				
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支	払	先	金 額 ( 円 )
	会費				
	旅費				
	宿泊費				
	合 計				

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和4年10月22日(金)		
開催時間	14:00~16:30		
開催場所	新有楽町ビル		
主催者	地方議員研究会		
研修会等の名称	地方議会研究会(子どもの貧困問題の基礎)		
講師等の氏名等	甲南大学経済学部 教授 足立 泰美		
	<p>子どもの貧困問題の基礎</p> <p>出生率の低下 晩婚化 31歳時は10%⇒子ども家庭庁(縦割りを避けたい)</p> <p>対策: いじめ・虐待、貧困 どう対処すべきか 妊娠前から対処(伴走型支援)</p> <p>内閣府(少子化対策予算):○地域少子化対策重点推進交付金:実行に至っていない</p> <p>○ヤングケアラーの支援体制の強化:具体的な数値を出す</p> <p>東京都の支援 認証保育所の1歳児受け入れ: シングルマザーのIT人材を育てる。</p> <p>・子どもの貧困対策: 両親が仕事がある、日用品が買えるなど具体的な手法をつくる。</p> <p>教育の支援、就労の支援、生活の支援(中退後学習支援など)</p> <p>・子どもの貧困対策に関する大綱の解説 39の指標 改善に向けた重点施策</p> <p>・教育支援・保護者の所得に対する支援 ・職業安定支援</p> <p>・目的・理念・方針 子どもの貧困は身近なところからサポートする必要</p> <p>・絶対的貧困と相対的貧困 人が社会の中で当たり前とすることができない。</p> <p>衣服・交通費 相対的貧困(相対的剥奪:普通だと思われている基準、生活保護法基準)</p> <p>等価可処分所得 客観的指標(所得、資産、戸籍、検査値など)</p> <p>剥奪アプローチ (deprivation) 食料が買えない10% 衣服が買えない40%</p> <p>医療サービスを受けられない</p> <p>・貧困指標を見て現状把握 ・ひとり親家庭に対する取組み</p> <p>家庭の事情と学力(進学率、学歴別の生涯賃金差は7500万円の差がある)</p> <p>・就学支援とマザーハローワーク</p> <p>まとめ 困難な状況にある子どもたちの支援は、子ども家庭庁が設置され、子どもに関するパッケージとして取組みが強化されて来ている。子育てしやすい環境や家庭に対する支援など地域少子化対策重点推進交付金等、国の支援が十分には機能していない。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	講師謝礼		0
	会費		20,000
	旅費		34,138
	宿泊費		12,700
	合計		66,838